

ガッチガチ堅実
株式投資法

皿井岩雄 著

はじめに

20代で今の知識を持っていたなら……

「もっと早く知っていれば……」本書の株式投資の話を見ると、多くの方がそう言います。妻は、私が堅実株式投資教室を始めたとき「自分の子どもたちに先に教えておいて欲しい」と言いました。私は子どもたちが心身に豊かな人生を送れるようにと願い、彼らが帰省した折に2日位ずつをかけて、お金の基礎から株式投資、銘柄の分析方法についてみっちり伝えました。本書はすべてではありませんが、根幹部分です。

私は家業の浮き沈みを株式投資で補うような家系に育ちました。そして30年以上、株を中心に投資を続けて来ました。その経験上、不変的で資産が増える可能性が高いと感じていることをこれから本書でお伝えします。

投資をギャンブルにしてしまっている人たちが溢れている

さて、本題に入る前にあなたに知っていて欲しいことがあります。それは、現在日本で使われている「投資」と名の付いたもののほとんどが「ギャンブルで金持ちになれ」と言っているに等しいということです。

世の中には「投資なんて失敗したらお金がなくなるでしょ！ 投資は怖いわ」という方が多くいらっしやいます。

今、我が国のお金に関する現状を見る限り、その意見は正論だと私も強く感じます。ただ儲かりそうだからと株や投資信託に手を出して損している人が多いこと。自分のお金を使った短期トレードで長期に成功する確率はほぼないに等しいことは、SNSや周りを見渡せばわかることですし、ご自分で株を買ってみればスグに実感できるでしょう。だからこそ、今あなたが本書を手にとっていただけているのかもしれないね。

しかし、まだあなたが「一瞬にして資金を何百倍にもできる本」を探しているのなら、他の人の話を聞いてください。トレード、相場、空売り、バイナリー、オプション、レバレッジ、100万円を数カ月で1億円、……そんな一か八かの大賭けをお望みなら、残念ですが本書はあなたが探している本ではありません（尚更役に立つとは思っていませんが……）。

ガッチガチに堅実な投資をしよう

本書の狙いは、できる限り堅実な方法でリスク回避しながら、安定的で価値の高くなった株式資産を着実に、できるだけ多く保有していくことです。そしてその株から配当や売買益を手に入れながら、あなたに、人生を安心して謳歌して欲しいのです。そのための助けとなる基礎知識と、たど

り着くまでのガッチガチに堅実な戦略をお伝えしていきます。是非、ギャンブル的投資 (Tread) と堅実投資 (Invest) の違いを感じながら読み進めください。

若いうちに労働などで稼いだお金の一部を投資に回すことで、お金自体に超堅実に働いてもらい、公的年金と投資から生まれるお金で、老後を穏やかに安心して楽しむ。株主優待で家族と笑顔で美味しいものを食べに行く。そんな感じを想像して書いています。

私は有名人でも伝説のトレーダーでも何でもありません。だからこそ、これからお伝えする基本的なことを理解して行動すれば、安心して老後を迎えるために、あなたが一人で取り組んでも、充分実現可能な資産構築方法を、お伝えできると考えています。

前半は投資をすること自体に迷う人に向けて、後半は株式投資で少し痛い目に遭った人に向けても書いてあります。もし、あなたが株をやらないとしても2章まで理解すれば、投資詐欺の予防で数百万円のマナーセーブになると思いますし、3章まで理解すれば世の中のお金の動きが自分で考えられるようになつてくると思います。

少なくとも私が30年以上の時間をかけてたどり着いたお金に関する堅い知識を、あなたが数日で得ることはできません。本書を読んで世の中の怪しい儲け話に飛びつかずに済むようになるだけでも、この書籍代くらいはすぐに元が取れるでしょう。

現代では、誰しもが持つお金の心配に対して、メディアや広告、最近ではSNS等、消費者の目

に触れるあらゆるものが、物やサービスを売ろうとして、あなたの不安を煽ります。

そんな情報に囲まれ、不安になりあせって、もしも今、怪しい投資話や無理な副業、自己啓発などに大切なお金をつぎ込まなければならぬと感じているのなら、そのお金の半分でも堅実株式資産の構築に使うて欲しいと老婆心ながら思います。

ここで、図表1の資産増加グラフを見てください。かなり大雑把なシミュレーション図ですが、縦軸は資産の金額、横軸は年数でつくってあります。普通の株式投資で株価の浮き沈みのサイクルと言われる7年毎に投資額が1・4倍になったところで半分の株を売り、配当はすべて再投資用に戻し、毎月決まった額の資金を準備しながら投資を繰り返していくことで、資産がどのくらい増加していくかを少し控えめにグラフにしたものです。

グラフ中の5本の線は、株を購入するために毎月何万円を貯めながら投資に戻していくと、株式資産がどのように増えていくのかを表しています。もちろん選ぶ株や投資タイミング、株価の下落上昇サイクルの期間、国際情勢や国の政策や税制、物価変動によって株価が変わり影響を受けます。したがって、絶対にこの図表1の通りに行くと断言はできません。

しかし、本書の内容は、図のように資産をつくっていくために、できるだけ堅実で合理的な手法を解説した内容となっています。投資なので結果にお約束はできませんが、あなたが学べば学べほど、その投資リターンは更に大きくなるはずです。

あなたが、今大金持ちである必要はありません。普通に暮らしながら老後に備えるくらいの資産形成は、一般の方にも十分可能な射程圏内にあります。

私は人生の後半を折り返した今、「あんなことにお金を使うんじゃないなかつた。20代で今の知識を持って、自分の感情に正直にものを言い、行動し、周りに振り回されずに生きていたなら……」「あのお金の半分でも株を買っておけば、今頃……」と、とても悔しく思うことがあるのです。

そのため本書は、あなたにも「もつと早く知りたかつた。早くわかつてよかつた」そう言つてもらえるようにと考え、堅実な株式資産投資の方法と、経済の見方が変わるようなお金の話、今どきの言葉に直すなら、金融リテラシーについて書きました。書ききれないことも色々ヒントを散りばめておきました。本書の内容を使った、銘柄分析用のオマケも用意してあります。

本書は、あなたにお時間があるとき、堅実にコツコツやる程度でも、図表1のような感じで時間をかけて資産を増やしていくためのお話です。そのために、どう考え何をすべきかをこれから具体的に解説していきます。この話は最初から最後まで1本の糸で繋がっています。じっくり読んで金融の基礎を理解し、株式投資のやり方と考え方を間違えないように学んでみてください。

2023年8月

皿井 岩雄

〔図表 1 資産増加グラフ〕

